

参加費無料・申込み不要 駐車場あり

伝統的建物保存とまちの活性化フォーラム 2005 in ふかや

プログラム 11月26日(土) 27日(日) 深谷にぎわい工房・埼玉県主催

トーク・とーく

26日 午後2時～4時

主催者挨拶

NPO 深谷にぎわい工房、埼玉県
来賓挨拶 深谷市長 新井家光 氏
メイン・とーく

「伝統的建物保存とまちづくり」

埼玉県行田市の足袋蔵の保存活用やまちづくりに活躍しておられる朽木氏に実践例を踏まえた幅広いお話をいただき、深谷市での今後のまちづくりを考える。建築家でもある朽木氏の事務所は蔵を改造したものである。

ぎょうだ足袋蔵ネットワーク代表

朽木 宏 氏

パネル・ディスカッション

「伝統的建物保存と活用を考える」

永い間土地所有者であり、七つ梅の廃業により建物のオーナーとなった坂本氏、この利活用のプロデュース依頼を受けた時田氏をはじめ、関係者による七つ梅にかける思いを語るトークセッション。

所有者 坂本守彦 氏

時田工務店 代表取締役社長 時田芳文 氏

(株)コンセプト 代表取締役 砂川 肇 氏

(有)シーエフピー 代表取締役 石塚 清 氏

(前 掲) 朽木 宏 氏

27日 午後1時～3時

「七つ梅の建物の特徴」

七つ梅の敷地全体の配置、木造建築による大空間の蔵内部を調べ、部材の利用、伝統軸組み技術の特徴を解明する。

住まいとまち創り集団「木犀」

&ものづくり大学

ものづくり大学 講師 横山晋一 氏

「撮影被写体としての七つ梅考」

山田洋次シナリオの「祖国」TVドラマ。

落ちぶれた造り酒屋のシーンに当地七つ梅がロケ地となった。このドラマの監督である堀川とんこう氏にご登場いただき、七つ梅の魅力を語っていただく。またこうした街並みを利用するフィルム・コミッションにも言及いただく。

映画監督 堀川とんこう 氏

まちめぐり・蔵めぐり

七つ梅 建物内部見学



建物内部をスタッフが案内します。

伝統木造建築の技を堪能ください。

レンガ倉庫など特徴のある建造物

+ 造り酒屋3本のレンガ煙突めぐり

27日 午前10時～12時

会場周辺のレンガ倉庫、総檜造り町屋、造り酒屋などをめぐります。七つ梅を含め造り酒屋の3本のレンガ煙突は絶品です。



お楽しみイベント

深谷名物「煮ぼうとう」

深谷はレンガ、瓦、土管の産地。食べ物では言わずと知れた「深谷ネギ」。この食材を使った家庭の伝統食が『煮ぼうとう』です。

煮ぼうとう研究会の協力でご来場の皆さんに本場の味をご提供します。



「七つ梅」をロケしたドラマ

(山田洋次シナリオ「祖国」)の上映



七つ梅の蔵にて随時放映します。TVをご覧になれなかった方はこの機会にどうぞご覧ください。

蔵出しお宝・販売オークション

今回のフォーラムにあたり、建物内部を整理しました。かつての酒造りに関連する品々などが多数残存していました。オーナーのご協力でこれらの物を処分します。思わぬお宝が見つかるかも。



抹茶と琴の調べ

町屋商家二階の和室を抹茶と琴の演奏の場としてお楽しみいただきます。



県産木材製品販売 ほか産直、フリマなど

授産施設川本園から県産材木工製品が展示・販売されます。他、新鮮な野菜販売やフリーマーケットなどのお楽しみイベントがいっぱいです。

地酒試飲コーナー

地元の酒造組合から利き酒が提供されます。お気に召しましたらお店でお買い求めください。

交流カフェ

協力団体の活動紹介と交流の場

川越など県内各地の団体による活動のパネル展



示です。各団体の交流広場にもなります。いろいろお聞きください。そしてあなたも一緒に活動をして見ませんか。

展示

「魅力あるまちづくり研修」の

成果発表展示

自治人材開発センター主催の研修成果の展示です。県内自治体職員と県民の協働による、深谷をテーマにしたまちづくりの提案です。

深谷市内特長的建物調査と

活用策の提案パネル展示

NPO 法人『深谷にぎわい工房』が平成16年度に国の内閣府から委託を受けて実施した調査の展示です。市内の特徴ある建物の調査を所有者の協力をいただいて実施し、その活用提案をすることで、伝統的建物の保存活用の可能性を探ったものです。



木材チップ、レンガ、土管などの利用

によるガーデニング作品展示

ガーデニングシティ
深谷にはたくさんのガーデニング愛好家が自



慢の庭はもちろん、公共の場にもその活動の輪を

広げています。こうした愛好家による地場産のレンガ、瓦などを使った作品を展示します。

ペレットストーブ実演

県産材の間伐材チップを加工したペレット。これを燃料にする地球にやさしいストーブが静かなゲームです。中庭でペレットストーブを焚きます。



このフォーラムで使用される電力の全ては県内の小規模太陽光発電施設のグリーン電力証書の活用によるクリーンな電力でまかなわれます。